教育目標 「 知性豊かに 心さわやか たくましく生きる 」

志　学校だより

R4 .12 .12

四日市市立内部中学校　第 34 号

人権フォーラム

１２月８日（木）に、本校の２年生と内部小学校、内部東小学校の６年生とで、『人権フォーラム』を行いました。この取り組みは、人権について校種を越えて意見を交流することが目的です。今年度も「みんなが安心してくらせるまち」をテーマに、互いに意見交流を行いました。ＺＯＯＭでの開催でしたので、直接対話することができなくて残念でした。しかし、中学生が司会進行し、意見をはっきりと丁寧に伝え、小学生もハキハキと発表する姿が見られました。また、互いに拍手などのリアクションを送り合うことで、コミュニケーションを取りながら進めることができました。

事前学習にて、「ある街の様子」が描かれた絵を見て、「良いと思う場面」と「気になる場面」を探してまとめておきました。今回は最初に、探した「場面」について小中間で交流しました。

この活動では、様々な「気づき」があることを知り、**自分だけの視点ではなく、様々な人の立場から「気づく」ことの大切さ**について学ぶことができました。

次に、マップの中の「いじめだと思われる場面」や「ネットに書き込みをしている場面」を取り上げ、それぞれの場面で「何がおかしいのだろう」、「何を大切にしていきたいか」について考え、小中間や学級内で意見交流しました。最後は『人権フォーラム』全体を振り返り、個々に感想をまとめました。

生徒たちの意見には**「いじめを見つけたら、何とかしてやめさせる」**や**「信頼でき相談できる人を探しておく」、「ネットに書き込みをする際は、相手の気持ちを考える」**等があり、社会で起こっている事象に対してしっかりと思いを持っていることに感心しました。今後は、そうした様々な思いを、**「実際の行動に移すことの大切さ」**について考えることができると良いです。今年度も多くの**「気づき」**のある、とても有意義な『人権フォーラム』となりました。

また、内部小、内部東小の６年生と交流することができ、来年度につながる、充実した時間となりました。

ＩＣＴについて（学習への活用とモラルの必要性）

タブレットの学習等への活用がすっかり定着してきました。タブレットも『ＩＣＴ』の一つですが、この言葉の意味を正しく理解している人は、意外と少ないのではないでしょうか。英語で表記すると、『information and communications technology』で、『通信情報技術』のことです。『ＩＴ（情報技術）』に、様々な『通信サービス』の要素が付加された言葉です。『通信サービス』には、電話、ビデオ会議、電子メール、ＳＭＳ、ファックスなどがあります。また、身近な例をあげると、ＳＮＳ上でのやりとりやメールでのコミュニケーションがそれにあたります。これらを**うまく活用することで、人同士のコミュニケーションを手助けする**事につながります。

また、学校や自宅における様々な学習でのＩＣＴの活用例は、以下に示すような内容です。

・タブレットでインターネットを使って、調べ学習をする。

・教室のプロジェクタに問題を掲示し、書き込み等をしながら解き方を共有する。

・個々がタブレットで作った発表資料を、一瞬でクラス全員の端末に共有する。

・双方向コミュニケーションツールを活用し、離れた場所にいる人たちと話し合いをする。

これまでの学び方に比べて、視覚的にわかりやすくなり、情報の受け渡しがスピーディになりました。生徒たちも随分と操作に慣れてきていますので、意見や情報をやりとりする上で便利になったことは事実です。しかし、『ＩＣＴ』が万能ではないことも理解しておくべきです。

意見をやりとりするためには、個々がちゃんと意見を持っていることが基本ですが、それを相手に伝えるためには、**『言語活動』が充実しいていないといけません。**また、**各教科の基本的な内容をちゃんと理解している必要があります。**『ＩＣＴ』は、日々の『学び』の中で適切に活用するべきものです。また、**人同士の『望ましい』コミュニケーションを手助けするためものです。**

また『ＩＣＴ』には、便利な機能が多くある一方で、『人権フォーラム』でもあったように、他者を傷つけてしまうツールにもなり得ます。**一人ひとりが「ルール」や「マナー」を守って、適切に活用したいです。**貸与されているタブレットは**「学習用」**であることも忘れないように。

本の紹介　『クリスマス・キャロル』（原題：A Christmas Carol）

英国の文豪『チャールズ・ディケンズ』の中編小説で、1843 年 12 月 19 日に出版されました。守銭奴である『スクルージ』がクリスマス・イヴに超常的な体験をします。過去・現在・未来の亡霊に会い、一緒に旅をして自分の姿を見た結果、改心するといったお話で、クリスマス・ストーリーの中では最も有名なものです。たくさんの本が出版されていますので、既に読んだという人もいると思います。また、何度も映画化され、その多くはミュージカル風に制作されました。

その中でも、１９７０年版、１９８４年版、２００９年版（ディズニー）が有名ですが、可能であれば、１９７０年版【原題：SCROOGE】を観ることをお勧めします。

敢えて、ディズニー版のキャッチコピーを紹介します。**「今のあなたは、あの頃なりたかったあなたですか？」「あなたは信じますか？未来をあなた自身の手で変えられるかもしれないと」**